

さわやか

S A W A Y A K A

西美濃厚生病院だより

第74号

平成27年1月



病|院|の|理|念|

私たちは今、三つの「想い」を育んでいます。

1. 患者さんへの「想い」
温もりと対話のある医療を実践します。
2. 地域社会への「想い」
地域に有用な医療機関として社会に貢献します。
3. 病院への「想い」
良質な医療を提供し、信頼される病院を目指します。
これが私たち西美濃厚生病院の理念です。



目次

- 岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長
堀尾 茂之「年頭のご挨拶」
- 院長 飯田 辰美
「地域包括ケア病棟が始まりました」
- 婦人科医師 伊藤 邦彦
「閉経すれば誰でも必ずおこる萎縮性膣炎の話」
- 訪問看護ステーションよろうろは在宅療養をサポートします
- 外来診療担当医一覧表

年頭のご挨拶



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長

堀尾 茂之

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業につきまして格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成27年の年頭にあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

我が国の医療を取り巻く環境は、昨年6月に施行された「医療・介護総合確保推進法」に基づき、今後の少子高齢化と人口減少など社会構造の変化に応じた、地域医療ビジョンの策定や地域包括ケアシステムの構築など、医療・介護の提供体制が大きく変革してまいります。国は、医療病床の機能分化・連携などによる医療の重点化と効率化を目指しており、人口減少の進展とともに地方医療は極めて厳しい経営環境が

予測され、今後の医療動向を見据えた早急な対応を迫られております。

こうしたなか、本会は、公的医療機関として、また、地域の基幹病院として、予防医療から救急医療、急性期医療さらには慢性期医療、在宅医療、緩和ケアに至る総合的な医療・保健事業を担い地域医療の充実に取り組んでおります。

災害医療においても昨年9月に、中濃厚生病院に続き久美愛厚生病院が、医療救護活動の中心施設となる「災害拠点病院」と災害医療派遣チームを編成する岐阜DMATに指定されました。

医療設備の充実では、今年4月には、中濃厚生病院の増床整備工事が完了し、引き続き既設棟の改修整備を行い病床数が112床増床し495床となります。今回の増床事業に伴い救命救急センターの増床、化学治療室の拡充、専門性の高い呼吸器・消化器病センターの開設をはじめ、健康管理センター、保育所、災害時の備蓄倉庫の再整備を行います。また、他病院についても今後、耐震整備や高額医療機器等の施設設備の整備を積極的に行ってまいります。

医師不足等医療を取り巻く経営環境は、厳しいものがありますが、組合員並びに地域住民に信頼していただけますよう、地域医療機関との連携をさらに強化し、より充実した医療体制を目指して行く所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心より祈念申し上げますとともに、引き続き、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新春の

お慶びを

申し上げます

新春を迎え

皆様のご健康と

ご多幸を

心よりお祈り

申し上げます。

院長 飯田 辰美
事務局長 佐藤 義勝
副院長 岡野 学
副院長 西脇 伸一
看護部長 高木 良里子

職員 一同

地域包括ケア病棟が始まりました



西美濃厚生病院院長
飯田 辰美

あけましておめでとうございます。

暮れの衆議院選挙も済み、平成27年も無事明けて、皆様方におきましては健やかな一年が過ごせますよう心より祈念いたしております。堀尾会長のもと職員一同協力し、地域医療に邁進致す所存であります。

昨年秋にスタートいたしました地域包括ケア病棟は医療・介護の一つの受け皿として役割を確かなものにしつつあります。昨年の医療制度改革の目玉であり、亜急性期病床に代わる新たな病床区分ということで、半年ほどの準備をして秋から開始いたしました。政府のスローガンである在宅療養で賄いきれない部分を補助する重要な役割を担っております。多くの病院が7対1看護の病床を地域包括ケア病棟へ転換するような衣替えが行われてきました。しかしながら、当院は逆に療養病床から地域包括ケア病床への転換で、

看護基準や在院日数や在宅復帰率など皆グレードアップさせ、7対1病床を減らさない方法をとりました。今までの亜急性期病床のように病床単位で設置できず、病棟単位で運用する地域包括ケア病棟は、1フロア60床以上ある当院では、使い勝手が難しく、随分議論のあるところでした。しかし、在院日数をクリアし、人員の配置を工夫し、今まで以上に地域連携を介した患者さん受け入れを強化することによって、急性期ベッドも包括ベッドも療養ベッドもよい回転に向かいつつあります。これが一番、西南濃地域のニーズに応えられるのではと考えました。そうは言っても、病院負担である診療費消費増税は少なからず病院運営に暗い影を投げかけており、増税の危機は一時的に遠のきましたが、当分は薬価や材料費から目を離せません。

ただ、地域包括ケア病棟の開始に向けて、目標をもって病院全体で取り組んだことは、とても貴重な体験で、私を含め「やればできる」という自信を持ったスタッフも少なくないと思います。まだまだ変革は端緒についたところで、油断はできませんが、何かを学んだ気がします。いずれ来るであろう、電子カルテ化や病院移転新築についても、前向きにぶつかってゆけるのではと思います。

今年も「夢と希望と目標」を旨に、15診療科315床、西南濃地域の基幹病院として、多くの専門医・専門スタッフ、最新機器を有する急性期病院として地域医療を担ってゆきます。知識・技術の研鑽を行いつつ、診察枠の増加などスタッフの充実も少しずつではありますが拡大しております。

さらには地域に密着して、救急患者さんの受け入れをよりスムーズにできるよう、一般急性期病床は今までどおりフル稼働できる体制を維持しています。高齢や病状の変化により、療養施設での生活が難しくなった方には、地域包括ケア病棟がいつでも受け入れを整えています。さらに長期の療養を要する方には療養病床での、柔軟な入院治療も可能であります。

近隣の医療機関と連携し、先進医療機器を共同活用していただき、救急や健診活動や訪問看護など地域とつながる多様な医療活動にもつなげて行ければと頑張っております。3大疾病である癌に立ち向かい、各科で癌専門家を有しています。これにより、癌治療認定医機構認定施設として癌治療にも力を入れています。

地元で一貫した医療が受けられること、すなわち「地診地療」、これこそが患者様・医療者双方に安心感・信頼感・自信をもたらします。人材・病院・地域医療のバランスのとれた進歩を職員一同日々目指しております。本年もどうぞよろしくお願いたします。

閉経すれば誰でも必ずおこる萎縮性膣炎の話



婦人科医師
伊藤 邦彦

20年以上にわたり岐阜市民病院の産婦人科を担当しておりましたが、定年になりまして2014年11月より毎週金曜日に西美濃厚生病院で婦人科外来を担当させていただいております伊藤邦彦です。よろしくお願ひいたします。

婦人科といいますと子宮癌、卵巣癌といった命に関わる病気は皆様ご存知と思いますが、今回はあまり注目されていませんが実際は極めて多数の方が困っておられる婦人科疾患として萎縮性膣炎のお話をさせていただきます。

萎縮性膣炎は閉経を迎え、卵巣機能がなくなった方、つまり卵巣から女性ホルモンが出なくなった方に必ずおこってきます。卵巣から出るエストロゲンというホルモンは子宮内膜を肥厚増殖させ月経出血の元になるだけではなく、骨を丈夫にしたり、コレステロールを下げたり、皮膚のみずみずしさを保ったりと全身的にもいろいろな作用があります。婦人科領域では膣に対して粘膜を厚く丈夫にしたり、粘膜の細胞の中にグリコーゲンを蓄えさせる作用があります。このため月経のある年代の婦人では、卵巣から出るエストロゲンのため、膣粘膜は厚く丈夫で、またグリコーゲンを栄養とする乳酸菌が住みついていて膣内は強い酸性が保たれ、他の細菌は生存できませんので、清浄な状態が保たれます。

しかし一旦閉経し、エストロゲンがなくなるとこの作用がなくなりますので膣粘膜は薄くなり傷がつきやすくなり、酸性も弱くなりいろいろな雑菌が繁殖します。このため黄色の帯下の増加や、ちょっとしたことで傷ができて出血が起こります。この状態が萎縮性膣炎です。閉経後で性器出血を訴えて子宮癌などを心配されて婦人科を受診される方のほとんどはこのような萎縮性膣炎の方です。原因はエストロゲンというホルモンの欠乏ですので補充をすれば2週間程度で良くなってきます。しかし、補充をやめると1~2ヶ月でまた元に戻ってしまいます。

萎縮性膣炎は生命を脅かすような疾患ではありませんので帯下などは我慢しておられる方も多いようです。エストロゲンを補充することにより骨が丈夫になることや、コレステロールが下がる、皮膚がみずみずしくなる、といった副効果もありますので最近ではエストロゲンの補充を続けられる方も増えてきております。皆様の中にはホルモン治療は怖いという先入観をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、当院では比較的安安全全なホルモン剤による治療を積極的に行っております。閉経後で帯下やにおいが気になる方はお気軽にご相談下さい。

なお当院婦人科では萎縮性膣炎の他にも子宮癌検診、月経異常、性器出血、更年期障害、子宮内膜症の保存療法、子宮筋腫や卵巣腫瘍の経過観察、避妊の相談、月経日の変更などの相談をさせていただきますのでお気軽に受診していただきますよう、お待ちいたしております。



訪問看護ステーションよろろうは 在宅療養をサポートします

超高齢化社会を迎え、増加する一方の医療費を削減するために国の医療、介護に対する政策は病院の機能を急性期医療、地域医療などと分化させ、在宅医療を推進する方向にシフトしています。そのような中、医療を受ける側としては、病気を抱えながらも「入院未満」の状態ですぐ在宅での療養を続けたいと望まれる方が増加しています。また、できるなら自宅で患者様と少しでも一緒に過ごしたい、面倒を見てあげたいと考えるご家族の方もいらっしゃいます。

そのような方々の在宅療養をサポートするのが私たち訪問看護師の仕事です。

訪問看護ステーションよろろうは、当病院をはじめ、近隣の病院や地域のかかりつけの医師、ケアマネージャーと綿密な連携をとりながら患者様のご自宅に伺って、医師の指示に基づいて看護を提供しています。

私たちの訪問看護ステーションの活動をご紹介します。

開設は平成23年です。訪問看護師2.5名でスタートしましたが、4年目を迎えた現在は、訪問看護師6名、理学療法士1名、言語聴覚士1名が在籍し、約70名の患者様にご利用頂いています。

訪問看護師・理学療法士・ 言語聴覚士の主な業務

- 状態観察(血圧等の測定) ●服薬指導や管理 ●点滴治療
- 在宅酸素療法の管理 ●人工肛門造設術後のケア
- 膀胱・腎ろうカテーテル留置中の管理 ●創処置
- 糖尿病のインスリン注射指導 ●経管栄養管理
- 褥瘡ケア ●栄養指導 ●喀痰吸引
- 認知症の方へのアドバイス
- がん末期で療養中の方のケア ●看取りのケア
- 入浴や清拭 ●寝衣交換 ●介護指導
- 介護用品の紹介 ●四肢のリハビリ
- 歩行訓練 ●嚥下・言語訓練
- 医師やケアマネージャーへの報告、相談などの連携

新たな年を迎え、
私たちは初心を忘れず、
皆様の在宅療養の要となれるように
スタッフ一同努力してまいります。
今後ともよろしく
お願い致します。



1週間に1~2回、あるいは毎日など患者様の状態に合わせてご自宅に伺って看護やリハビリを提供しています。また、夜間緊急時にも対応し、24時間体制でご本人やご家族が安心して安全な在宅療養ができるようにサポートしています。

ステーションを開設以来、私たち訪問看護師は、在宅看護の質の向上を目指して、介護支援専門員や精神科訪問の資格取得をはじめ、認知症ケア指導管理士、在宅褥瘡管理士などの資格を取得しました。これらの知識や技術を日々の看護活動に活かすように努めています。

訪問看護は医療保険や、介護保険で利用することができます。医師や地域連携室、地域のかかりつけの医師、担当のケアマネージャーさんにご相談ください。

また直接、訪問看護ステーションよろろうにお気軽にお問い合わせください。

訪問看護ステーションよろろう TEL.0584-33-0277 FAX.0584-33-0278

外来診療担当医一覧表

受付時間 午前8時30分～午前11時30分 ※救急の場合はこの限りではありません。 平成27年1月1日現在

診察科	曜日	月	火	水	木	金
内科	1診	畠山	田上	西脇	寺倉	林
	2診	西脇	岩下	中村	林	田上
	3診	前田	前田	寺倉	西脇	前田
	4診	林	畠山	田上	畠山	岩下
	5診(初診)	田上	西脇	林	前田	畠山
	血液外来		大学医師 (第2・4火曜日 午後)			
	循環器内科				大学医師 8:30～11:00	大学医師 8:30～11:00
禁煙外来					前田 (予約制)	
外科	1診	飯田	二村	飯田	飯田	二村
	2診	岡田	岡田	岡田	二村	岡田
	3診	松井		松井	松井	
整形外科	1診	熊澤	馬場	熊澤	熊澤	四戸
	2診	馬場	熊澤	四戸	四戸	馬場
小児科	午前	井上	井上	井上	井上	井上
	午後	予防接種 (予約制)		予防接種 (予約制)		
眼科	午前	松原	松原	松原	松原	松原
	午後				学童外来 (15:30～16:30)	
耳鼻咽喉科		大学医師 午前 (9:00～11:00)			大学医師 午前 (9:00～11:00)	
婦人科				大学医師 午前(予約制)		代務医師
皮膚科		福嶋	福嶋	福嶋	福嶋	福嶋
泌尿器科		岡野	大学医師	岡野	岡野	岡野
麻酔科		濱屋	濱屋	濱屋	濱屋	濱屋
胸部外科					大学医師 午後第2.4	
脳神経外科				大学医師 午後		
歯科口腔外科	1診	杉山	杉山	杉山	杉山	杉山
	2診	大学医師				

休診日 / 土曜・日曜・祝日・年末年始

※毎月、医事課窓口にて
保険証のご提示をお願いします。

当院では
各種健診を
行っています。
お気軽に
お尋ね下さい。

*年に一度はご自分の健康状態を把握するために、
健康診断を受診しましょう。

- ・入院ドック(一泊二日ドック)
- ・外来ドック(半日ドック)
- ・肺がんドック
- ・各種定期健診

お問い合わせ
地域保健課まで
月曜～金曜 8:30～17:00
TEL.0584-33-2175
FAX.0584-33-2176

*健診終了後、ご希望の方を対象に保健師・管理栄養士による生活指導を行っています。
ご希望の方は受付の際にお申し出下さい。

看護師募集中

☎0584-32-1161

詳しくは病院総務課まで
お尋ねください。

ボランティア募集中

ボランティアの方を
募集します。

詳しくは病院総務課まで
お尋ねください。



岐阜県厚生連病院所在地



発行 西美濃厚生病院 ☎0584-32-1161
〒503-1394 岐阜県養老郡養老町押越986
ホームページアドレス <http://www.nishimino.gfkosei.or.jp/>